

立山杯 第十八回北信越空手道選手権大会

開催の御挨拶

謹啓 時下賢台には益々御清栄の段 大慶至極に存じ上げ萬寿平素より正道会館正天會の主眼である 武道空手道の普及発展に御理解と御協力を賜り 篤く御禮申し上げます

さて此の度も 御陰様を持ちまして標記の大会を開催する運びと相為りました

空手道は単に術を以って人を傷付ける事が目的の道具では有りません 正道会館の名称の由来である 八正道の教え

正道(セイドウ)己が信じた正しき道を誇りを持って邁進する 静動(セイドウ)世の対となる物 表と裏 善と悪等を見極める Say Do(セイドウ)有言実行 己の意見を堂々と発言し行動する

これらを基に精神修養を行い 強靱な肉体を作り上げる過程で 更なる強い精神を身に付けて行き そうして飽くなき向上を自身に課し人格陶冶を目指して 社会に貢献や還元をさせて行く事こそが 武道空手道の真の目的なのです

今大会は 各道場に於いて一所懸命拳を握り 空手道を通じて良い汗を流している 子供から大人までの門下生が 日頃の稽古の成果として研き上げた 氣・拳・體 を存分に 發揮し披露する場で有ります

また試合を通じて普段味わった事の無い緊張感を持ったり 勝ったからと言って驕り昂ぶらない謙虚な氣持ち 負けたからと言って拗ねたり腐ったりしない潔い氣持ち そして闘った相手を思いやり健闘を称え合う氣持ち等 本当に様々な事柄を 己の体を通じて学べる場でもあると考えて居ります

以上の事を踏まえて 出場選手にとって貴重な体験となる 今大会が盛会となり 今後の空手道界の普及発展の一助となります 微力乍ら粉骨碎身する所存ですので どうか御賢台各位に置かれました 今大会を無事成功に導いて頂きます様 御指導御鞭撻の程を伏して御願ひ申し上げます つきましては 御多忙の折 誠に申し訳御座いませませんが 当日会場に御臨席を賜ります様 宜敷く御願ひ申し上げます

謹白

紀元二六八十年
今上即位 二年

御賢台

全日本空手道連盟 正道会館正天會々長
国際正道・空手連盟 中川正秀